

MS アンチゲン 40 のネビュライザー療法

三重大学医学部 耳鼻科

鶴 飼 幸太郎, 竹 内 万 彦, 坂 倉 康 夫

山本総合病院

原 田 輝 彦

中勢総合病院

浜 口 富 美, 八 木 研 三

国立津病院

伊 藤 由紀子, 稲 垣 則 子

松阪中央病院

福 生 治 城

山田赤十字病院

原 田 泉, 伊 藤 博

MS-アンチゲンはアレルギー性疾患患者尿から得られた抗アレルギー剤である。

本剤に関し組成や性状、薬理作用の不明な点が多かった以前から、臨床治験はさかんに行なわれて来ており、アレルギー性疾患にばくぜんとしか効かないという印象を持っていた。しかしここ数年、MS-アンチゲンに関し基礎的研究がさかんに行なわれるにつれ、本剤が抗アレルギー剤として再評価されつつあることは疑いない事実である。

今回我々はMS-アンチゲン40をネビュライザーとして投与し、鼻アレルギーに対する臨床効果を検討したので報告する。

投与方法はMS-アンチゲン40を2 Amp合計80mgを注射用蒸留水2 mlに溶解し、ジェットネビュライザーにて全量鼻腔噴霧した。投与間隔は週1～2回で合計8回を投与の目安とした。検査項目は鼻自覚症状、鼻腔所見、鼻粘膜誘発反応、鼻汁中好酸球検査で、投与開始前、4回終了時、8回終了時に行なった。投与期間を通

じ、鼻アレルギー日記を配布し鼻自覚症状の効果判定の参考にした。

効果判定基準は奥田の分類に従い、自覚症状、他覚所見から全般改善度を、さらに副作用の有無により本剤の有用性について検討した。

三重県下5施設の耳鼻科において臨床検討を行なった24症例を対象とした。

24症例のうち87.5% 21例は通年性鼻アレルギーで、残り3例は血管運動性鼻炎である。通年性鼻アレルギー症例のうち15例はハウスダストアレルギーで、6例は抗原不明例であった。

患者背景では、性別は女性が75%を占めており、年齢は最年少が7歳、最年長が63歳、平均32.3歳であった。病型ではくしゃみ発作、鼻汁型が11例と多く、重症度では24例中23例が中等度以上であった。軽症の1例は血管運動性鼻炎症例である。発症年齢は20歳台に発症したものが7例と多く、罹病期間は2年以上が17例と全体の70%を占めていた。

全般改善度に関しては、著明改善した症例は

少なかったが、「中等度改善」以上の改善率は4回終了時で54.2%，8回終了時では72.7%であり，特にハウスダストアレルギー症例では78.6%であった。悪化した症例は4回終了時の1例は血管運動性鼻炎であり，8回目の1例は抗原不明通年性鼻アレルギー症例であった。

次に副作用等を考慮した有用度について検討した。「有用」以上の有用率は4回で54.2%，8回で68.2%，ハウスダスト鼻アレルギーでは4回で60%，8回で78.6%と全般改善度とほぼ同様な結果が得られた。

鼻症状別効果では，くしゃみ発作，擤鼻回数，鼻閉，嗅覚異常，日常生活の支障度のうち，「改善」以上の改善率が最もよかったのは，4回投与，8回投与ともくしゃみ発作回数と擤鼻回数で，特に8回終了時の改善率は約60%であった。

鼻粘膜所見別効果について検討すると，「改善」以上の改善率がよかった項目は，鼻汁中好酸球数が8回終了時に47.6%と最もよく，次いで腫脹が40.9%，水性分泌36.4%の順であった。

回収しえた15例のアレルギー日記から判定した1日の平均くしゃみ発作回数と擤鼻回数を検討した。導入期間，ネビュライザー1回目から4回終了まで，4回終了後から8回終了までの1日の平均回数を算出した。くしゃみ発作回数では導入期6.2回，4回終了で4.8回，8回終了で4.0回であり，導入期にくらべ8回終了後のくしゃみ発作回数は有意に減少していた。擤鼻回数については導入期8.1回，4回終了で5.6回，8回終了で4.7回と減少していたが統計的な有意差はなかった。次にアレルギー日記から鼻閉と日常生活支障度の1日の平均評点を出してみた。鼻閉では導入期の1.2に比べ4回終了で0.9，8回終了で0.7と改善傾向にあったが有意ではなかった。しかし日常生活の支障度に関しては8回終了時のそれは導入期に比べ，有意に改善がみられた。

ネビュライザー8回終了時にアンケート調査を行ない，その結果をまとめると次のようになる。すなわち以前に受けたネビュライザー療法との比較では「これがよい」と答えたものは15例中2例で，ほとんどが「わからない」と答えていた。治療継続を希望したものは46.7%と半数近くあった。

鼻症状の変化を患者自身に判定してもらくと，くしゃみや鼻をかむ回数の減少が高率であった。鼻症状全体の印象では「少しよい」と答えたものが約半数あり，医師側の判定に比べ患者の印象はもう1つよくないようであった。効果発現時期は大半が4回以内と答えていた。

副作用発現は24例中1例4.2%で，この1例はネビュライザー4回目投与頃からの発疹であった。

以上の結果をまとめると，MS-アンチゲンのネビュライザーによる鼻アレルギー全般改善率は72.7%，有用度68.2%であり，鼻症状のうち，くしゃみ発作や鼻汁の改善に有効であると考えられた。